

内科検診終了

内科検診では、内科の先生にお腹と背中を聴診器で診察してもらいました。学年が下の子供たちは、白衣の先生を見て泣きだすことを予想して、診察に慣れさせるために保育者がおもちゃの聴診器を用意して先週から遊んできました。その効果もあってか、みんな先生の前に立つことができました。いちご組もしっかりできました→



おはなしの会

保育者が行う「おはなしの会」がありました。今年第1回目のお話しは大型紙芝居の「ぐりとぐら」。読み聞かせは心がゆったりする至福の時間です。お話しの世界に浸る表情が素敵。



市内中学生体験活動「やるベンチャーウィーク」



現在、高崎市内の中学2年生が取り組む「やるベンチャーウィーク」の期間で、本園にも高南中学校と矢中中学校から保育体験にきています。中学生は最初幼児への関わり方に戸惑いが見られますが、逆に子供たちの方から中学生に寄って行って遊んでもらおうとするので、1日目で良いお兄さんお姉さんになって笑顔で帰っていく姿が見られます。何の垣根も持たず、まっさらな気持ちで中学生ににこにこ寄っていく子供たちの姿に、心が洗われる気がします。

公園探検

先週から今週にかけて、年少から年長までの各学年でぐんまの森へ公園探検に行ってきました。新学年になってから初めての園外保育ということで、子供たちも保育者もいくぶん緊張気味でしたが、大きなけがや事故もなく楽しんできました。

年少組もどんぐりや虫に興味津々→



年長組 科学あそび

健大高崎高校との連携で、科学部の先生と生徒さんが園に来て科学の面白さを伝えてくれる科学あそびを、24日に開催しました。今回は色水を使った「混色」の不思議がテーマでした。「赤、青、黄の三色の色水を2色ずつ混ぜるとそれぞれ何色になるかな」の実験を、子供たちの代



表に行ってもらいました。次に三色全て混ぜるのもやってみました。年長の子供たちは絵や制作物に絵の具を塗るという先行経験があるので、混色の予想は結構当たっていました。でも、最後に先生が透明の水どうしを混ぜて赤色にしたり、それに更に別の水を加えて透明に戻したり、まるで手品のような実験を見て一同びっくり。子供たちの好奇心をくすぐり、科学の面白さを体験できたひとときでした。 (文責 園長)